

# BANK! BANK!

#01

造血幹細胞  
移植事業  
広報誌

BANK! BANK!

いのちのバトン

みんなでつなぐ

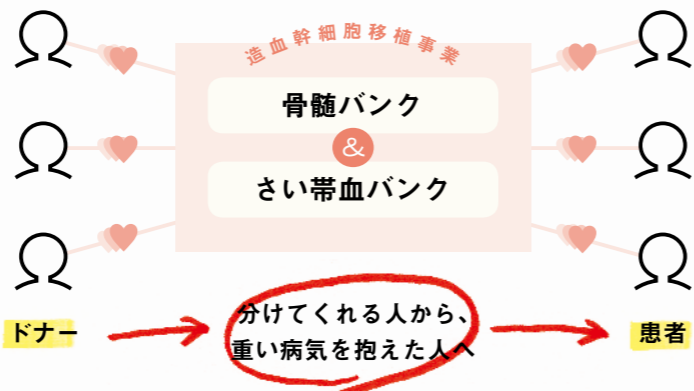


みんな  
で  
つなぐ

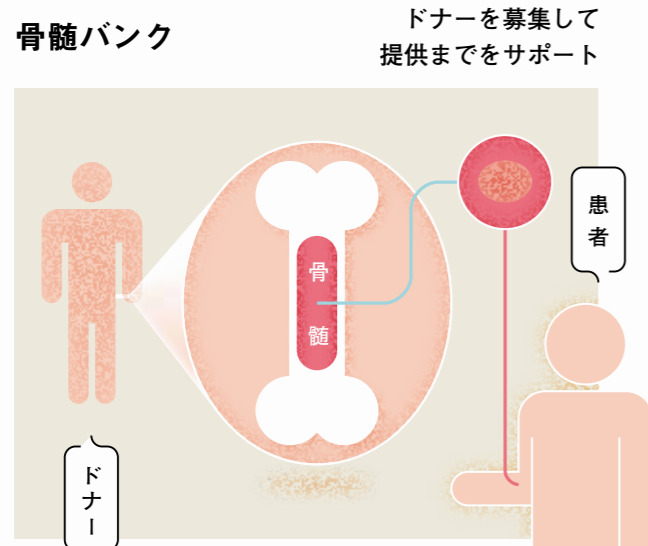
# いのちのバトン

1年間で約1万人の人が、  
白血病など重い血液の病気と診断されていることを  
あなたは知っていますか？

骨髄バンク・さい帯血バンクでは、  
白血病などの患者さんに  
血液を造る細胞(造血幹細胞)を  
分けてくれるドナーを募集しています。  
これだけ医療が進歩した現在でも、  
ドナーになってくれる方がいなければ、  
移植が必要な患者さんを助けることはできません。  
骨髄バンクとさい帯血バンク、まずはこの  
2つの「バンク」について、ご説明しましょう。

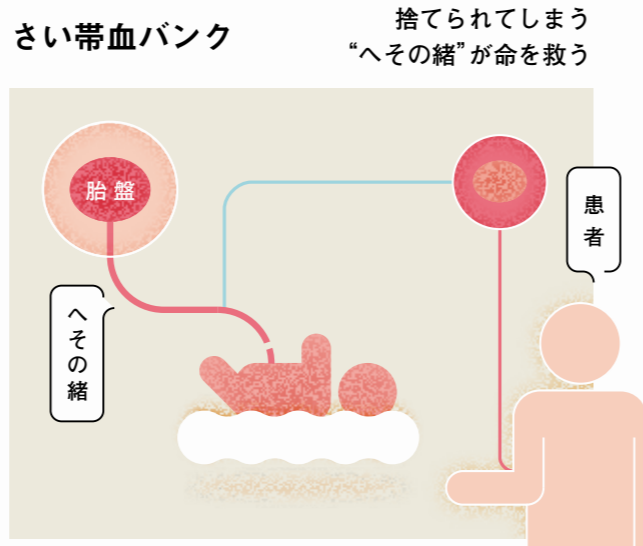


骨髄バンク・さい帯血バンクってなに？



骨髄・末梢血幹細胞を提供してくれる方(ドナー)を募集し、登録者の情報を管理して、患者さんと白血球の型(HLA型)が合う方を探します。そして、型が合う方が見つかったら、提供意思を確認したり、提供に向けてさまざまな調整をしたり。それらをサポートするのが「骨髄バンク」です。

ドナー登録は、提供の内容を十分に理解している方、18~54歳で健康な方、体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方であれば誰でもOK。申込書の記入と2mlの採血のみで簡単に登録でき、全国の献血ルームや保健所(一部を除く)のほか、各地で開催される登録会などで受け付けています。提供にあたっては、もちろんドナーの安全が最優先されます。



私たちは生まれる前、お母さんと、おなかの中で「へその緒」という絆でつながっていました。このへその緒を「さい帯」、そして中を流れている血液を「さい帯血」といい、お母さんからの栄養などを運ぶとても大切な役目を果たしています。赤ちゃんが生まれると、捨てられてしまうさい帯血。でも実は、まだまだ大事な役割が残されています。さい帯血には血液を造る細胞がたくさん入っていて、白血病など重い病気に苦しむ人の命を救うことができます。「さい帯血バンク」では、善意で提供されたさい帯血を保存し、患者さんの治療に役立てています。採取は、さい帯血バンクと提携している病院でのみ可能。さい帯血の提供は、お母さんと赤ちゃんから患者さんへの、「命のプレゼント」といえるかもしれません。

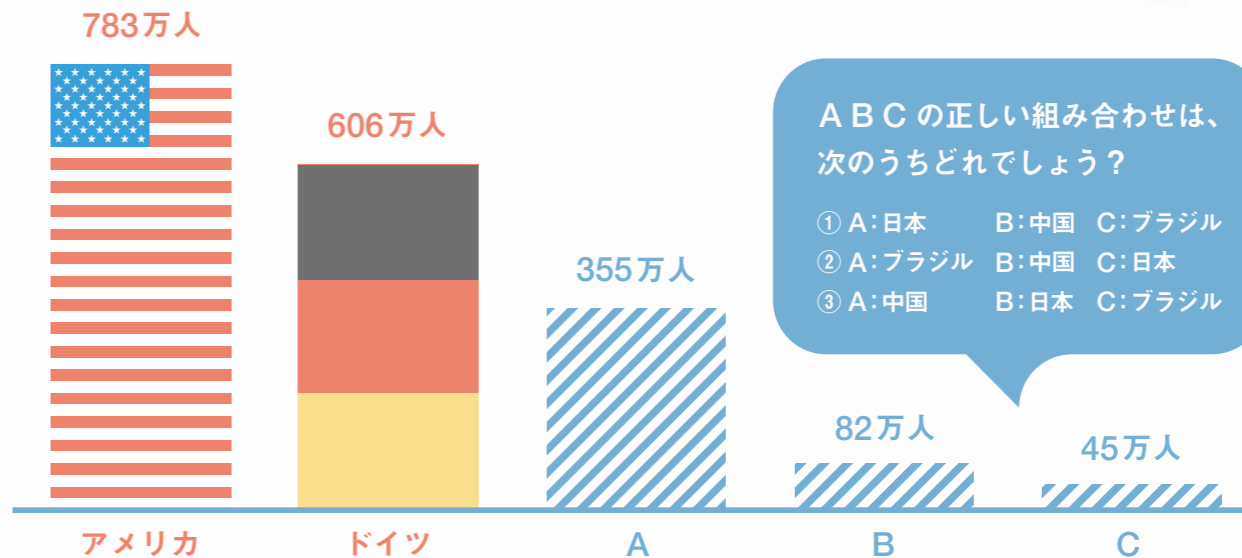
献血ルームでも登録OK!

## クイズ BANK! BANK!



Question

● 国別 骨髄バンク登録者数のグラフ ●



Answer

2015年11月末現在、日本の骨髄バンクの登録者数は約45万人。数だけを聞くと、たくさんの方がドナー登録しているようにも思えますが、世界各国の骨髄バンクと比較するとどうでしょうか。アメリカ783万人、ドイツ606万人、ブラジル355万人、中国82万人(2015年5月現在、BMDWウェブサイトより)となっ

ており、まだまだ少ないのが現状です。骨髄移植・さい帯血移植の場合、非血縁者間で白血球の型が一致するのは、数百から数万人にひとりともいわれるほど。患者さんを救うためには、できるだけ多くの方のドナー登録が必要なのです。

正解 ② A:ブラジル B:中国 C:日本



Q bmdc 検索

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト  
<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

## いま、あなたにできること

まずはサイトにアクセスして  
“知る”ことから始めよう

「移植っていったい何をやるの?」「ドナーって安全なの?」「なんか怖いな……」などなど。「BANK! BANK!」を読んで興味を持ったあなたは、左のサイトにアクセスしてください。骨髄バンク・さい帯血バンクの基礎知識はもちろん、ドナー登録の方法や提供までの流れをイラストや動画でわかりやすく解説。さらに、ドナーさんや患者さんの体験談、イベント&ボランティア情報も。あなたの小さな一歩が、いのちのバトンをつなぎます。

あとでスマホでチェック!

もっと増やすにはどうしたらいいの?

# ありがとう、いのちのバトン

実際に移植を受けた患者さんからの感謝のメッセージや、  
骨髄やさい帯血を提供したドナーさんの体験談を集めました。

患者さんのメッセージ

ドナーさんのメッセージ

## Patient



移植を受けた土田大介さん(27歳)



このいただいた「命」、  
一生大事にします

21歳のときに急性骨髄性白血病の診断を受け、最初の移植は姉から、再発後は骨髄バンクを介して、見ず知らずのドナーさんが骨髄を提供してくれました。献血をはじめとして、多くの方々が、日々ボランティアとして動いてくれている現実を思うと、今でも胸が熱くなり、感謝の気持ちでいっぱいになります。今回の移植で、人はひとりでは生きていけず、誰かによって「生かされている」のだと、あらためて感じました。このいただいた「命」、一生大事にします。僕と関わってくださった方々、ドナーさん、本当にありがとうございました。

## Donor



骨髄を提供した剛士さん



採取直後は、感動で  
人目もはばからず号泣

ドナー登録をしたのは献血の延長線で、少しでも人の助けになればという思いから。コーディネーターの方のすすめで、確認検査は住んでいる沖縄で、骨髄採取は実家のある愛知で受けさせていただき、大きな不安もなく無事に提供に至りました。採取直後は、人の役に立てたという感動で人目もはばからず号泣してしまいました。縁もあって、現在は骨髄バンク支援のボランティアもしていますが、人と人との見えない絆の強さに、いつも驚かされます。まわりにはドナーを2回経験している方も多く、今は次の提供を心待ちにしています。

Column

## 移植には、どんな方法があるの？

白血病や再生不良性貧血など血液の病気にかかった患者さんに、健康な人(ドナー)から血液を造る細胞を分けてもらって、その力を回復させることを「造血幹細胞移植」といいます。移植の方法には、以下の3つがあります。

骨髄バンク	さい帯血バンク
<b>①骨髄移植</b> ドナーに全身麻酔をかけ、腰の骨から針で細胞を採取。患者さんに点滴する。	<b>③さい帯血移植</b> ドナーは、妊婦さんと赤ちゃん。出産時に、へその緒(さい帯)と胎盤の中に残った血液から細胞を採取。保存しておき、患者さんの静脈内に注射する。
<b>②末梢血幹細胞移植</b> ドナーに専用の薬を注射し、腕の血管から細胞を採取、患者さんに点滴する。	



さい帯血を提供した  
桃子さんと史憲くん



命の手助けができた喜びを  
話し合える日を楽しみに

私にとって出産は、自分の健康が多くの人に支えられていること、それがどれだけ幸せなことであるかを思い知らされる出来事でした。そんな中、自分にも何かできないだろうかと考えて決めたのが、さい帯血の提供です。手続きは簡単で、本当に役に立つの？と半信半疑だったことを覚えています。わが子とその幸せな機会を共有できたことは、育児に追われる日々の中で、何よりの励みとなりました。今は、命の手助けができた喜びを、子どもと話し合える日を楽しみにしています。

## BANK! BANK!とは

2つのバンク【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全国から集まったメンバーやボランティアが制作に参加、年4回、毎回異なるテーマを取り上げ、わかりやすくお伝えします。

## 日本赤十字社

現在、患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髄」はインターネットでいつでも探すことができるようになりました。日本赤十字社は「さい帯血」や「骨髄」のドナー情報の管理や血液型(HLA)検査などを行っています。

## 骨髄バンクへの関わり

全国の献血ルームなどでドナー登録の啓発や受付をしています。

## さい帯血バンクへの関わり

日本赤十字社は、全国に6つあるさい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための啓発活動をしています。

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト「造血幹細胞移植情報サービス」 <http://www.bmdc.jrc.or.jp/>